

公会計事業別財務書類分析シート

事業類型： 固定資産整備型

決算対象年度： 令和05年度 対象年月： 令和 6年 3月
会計： 一般会計
局： 県土整備局
所属： 県土整備局県土整備経理課（直通 045-210-6078）
公会計事業： 県土整備事業運営費

1 主な事業内容

・土木事務所等の庁舎整備を行う。

2 行政コスト及び純資産変動計算書

(単位：千円)

科目	R03決算	R04決算	R05決算	R03-R04増減率	R04-R05増減率
経常費用	405,645	376,197	411,383	△7.3%	9.4%
人件費	20,330	20,357	32,306	0.1%	58.7%
物件費等 ※	368,011	340,806	363,612	△7.4%	6.7%
物件費	7,542	170	5,742	△97.7%	3,277.5%
維持補修費	-	299	-	皆増	皆減
減価償却費	360,469	340,337	357,871	△5.6%	5.2%
移転費用 ※	1,173	-	-	皆減	-
補助金等	-	-	-	-	-
社会保障給付	-	-	-	-	-
経常収益	-	-	-	-	-
使用料・手数料	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-
純経常行政コスト(経常収益－経常費用) ①	△ 405,645	△ 376,197	△ 411,383	7.3%	△9.4%
臨時損失	-	-	0	-	皆増
臨時利益	-	-	-	-	-
純行政コスト (①－臨時損失＋臨時利益)	△ 405,645	△ 376,197	△ 411,383	7.3%	△9.4%
財源	-	-	3,184	-	皆増
税収等	-	-	3,184	-	皆増
国等補助金	-	-	-	-	-
本年度差額	△ 405,645	△ 376,197	△ 408,199	7.3%	△8.5%
一般財源充当調整額	410,327	483,811	647,140	17.9%	33.8%

(注) ※印の下位科目は、内訳を抜粋しているため、合計が一致しない場合がある。

3 貸借対照表

(単位：千円)

科目	R04決算	R05決算	増減率	科目	R04決算	R05決算	増減率
【資産の部】				【負債の部】			
固定資産	16,101,757	16,483,035	2.4%	固定負債	5,367,645	5,550,372	3.4%
有形固定資産	16,101,757	16,483,035	2.4%	県債	5,357,221	5,530,825	3.2%
事業用資産	16,101,757	16,483,035	2.4%	長期未払金	-	-	-
土地	9,346,325	9,346,325	0.0%	退職手当引当金	10,424	19,547	87.5%
建物	12,742,936	13,480,168	5.8%	損失補償等引当金	-	-	-
建物減価償却累計額	△ 6,458,500	△ 6,794,392	5.2%	その他固定負債	-	-	-
工作物	879,836	1,079,985	22.7%	流動負債	594,723	563,913	△5.2%
工作物減価償却累計額	△ 610,180	△ 631,186	3.4%	県債	593,386	561,521	△5.4%
その他	-	-	-	未払金	-	-	-
建設仮勘定	201,339	2,135	△98.9%	賞与等引当金	1,337	2,392	78.9%
インフラ資産	-	-	-	預り金	-	-	-
土地	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
建物	-	-	-				
建物減価償却累計額	-	-	-	負債合計	5,962,368	6,114,285	2.5%
工作物	-	-	-	純資産合計	10,139,389	10,368,750	2.3%
工作物減価償却累計額	-	-	-				
その他	-	-	-	負債及び純資産合計	16,101,757	16,483,035	2.4%
建設仮勘定	-	-	-				
物品	-	-	-				
無形固定資産	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
流動資産	-	-	-				
資産合計	16,101,757	16,483,035	2.4%				

(注) 負債の部における未払費用、前受金、前受費用は、その他流動負債に含む。

4 事業分析

① 行政コスト計算書及び純資産変動計算書(経常費用の経年比較)

主な増減(R04-R05の比較)は、物件費が 0.06 億円 (3,227.5 %) 増加しています。要因としては、災害用応急備蓄資機材倉庫応急仮設橋等移転業務の実施、物品棚の購入等です。

② 貸借対照表(資産の部)

R05決算の内訳は、土地が 93.5 億円 で、資産の 56.7 % を占めています。そのほか、建物が 66.9 億円、工作物は 4.5 億円となっています。

③ 貸借対照表(負債の部)

R05決算の内訳は、県債が 60.9 億円で、負債の 99.6 % を占めています。

④ 貸借対照表(純資産合計)

R05決算では、資産合計 164.8 億円から負債合計 61.1 億円を差し引いた 103.7 億円が純資産合計となり、純資産比率(純資産合計/資産合計)は 62.9 % です。

⑤ 貸借対照表(資産の経年比較)

主な増減(R04-R05の比較)は、建設仮勘定が 2.0 億円 (98.9 %) 減少しています。要因としては、足柄上合同庁舎車庫・倉庫他増築工事等が完了し、建設仮勘定から工作物に振り替えられたためです。

(注1) ②の分析のうち「建物」「工作物」「建設仮勘定」は、事業用資産及びインフラ資産を合算した上で、それぞれ減価償却累計額がある場合はその金額を控除しています。

(注2) ③の分析のうち、「県債」は、固定負債と流動負債を合算した金額です。

(注3) 他の公会計事業で保有する財産や、国、市町村が保有する財産を整備・修繕するために発行した「県債」や「人件費(退職手当引当金等)」が計上されていることなどにより、資産の計上がない、純資産合計がマイナスとなる場合があります。